

みたけ

2010.5.1
No.97
議会だより



さんさん広場 あしゆ (足癒)

主な内容

- ◆第1回定例会（平成22年） 2ページ
- ◆そこが知りたい（一般質問） 5ページ
- ◆議員行政視察研修レポート 15ページ
- ◆第1回臨時会（平成22年） 15ページ

平成22年 第1回定例会

平成 22 年度予算案可決 無水道地域解消対策特別委員会の設置

平成22年第1回定例会は3月5日に開会し、3月19日までの15日間を会期として開催しました。

提出案件は、御嶽宿わいわい館、さんさん広場、みたけ健康館の設置及び管理に関する条例の制定をはじめ、御嵩町固定資産評価審査委員の選任同意、無水道地域解消対策特別委員会の設置、平成22年度一般会計予算、各特別会計予算、水道事業会計予算、平成21年度補正予算など28件が上程され、原案どおり可決されました。

条例

1	御嶽宿わいわい館の設置及び管理に関する条例の制定について	5月23日開館予定のわいわい館の管理等の規定です。	賛成全員で可決
2	御嶽宿さんさん広場の設置及び管理に関する条例の制定について	4月4日に竣工したさんさん広場の管理等の規定です。	賛成全員で可決
3	御嵩町長寿者褒賞条例の一部を改正する条例の制定について	褒賞の対象者の見直しです。	賛成全員で可決
4	みたけ健康館の設置及び管理に関する条例の制定について	4月4日に竣工したみたけ健康館の管理等の規定です。	賛成全員で可決
5	御嵩町一般廃棄物埋立処分場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	御嵩町南山一般廃棄物埋立処分場を新たに設置したことと投棄料の改正です。	賛成全員で可決
6	御嵩町町民菜園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	町民菜園の位置と使用料を条例で明確化するための改正です。	賛成全員で可決

その他の議案

1	御嵩町固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて（関連4ページ）	賛成全員で可決
2	御嵩町上之郷辺地総合整備計画（変更）を定めることについて 国からの有利な資金を活用するための事業計画。林道整備など。	賛成全員で可決
3	工事請負契約の締結について 上之郷地区地デジ放送用光ケーブル敷設工事	賛成全員で可決

平成21年度 補正予算

1	平成21年度御嵩町一般会計補正予算（第9号）について	賛成多数で可決
2	平成21年度御嵩町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	賛成全員で可決
3	平成21年度御嵩町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	賛成多数で可決
4	平成21年度御嵩町介護保険特別会計補正予算（第4号）について	賛成全員で可決
5	平成21年度御嵩町下水道特別会計補正予算（第4号）について	賛成全員で可決
6	平成21年度御嵩町水道事業会計補正予算（第3号）について	賛成全員で可決
7	平成21年度御嵩町一般会計補正予算（第10号）について	賛成全員で可決

平成21年度 補正予算のあらまし

（単位：千円）

会 計 名	補正前予算	補正額	補正後予算
一般会計（第9号）	6,385,390	△75,926	6,309,464
国民健康保険特別会計（第3号）	1,894,512	47,037	1,941,549
後期高齢者医療特別会計（第3号）	333,748	△3,809	329,939
介護保険特別会計（第4号）	1,334,225	△43,199	1,291,026
下水道特別会計（第4号）	877,400	△2,400	875,000
水道事業会計（第3号）	825,192	557	825,749
一般会計（第10号）	6,309,464	9,053	6,318,517

※水道事業会計の予算額は支出額で記載しています。

無水道地域解消対策特別委員会

御嵩町の無水道地域解消に関する事、県水受水対策とそれに伴う水道料金問題に関する事、無水道事業の財政的事項に関する事などの調査・研究を行うために、新たに設置されました。

委員長 安藤 博 通
副委員長 梅原 勇
委員 岡本 隆 子
植松 康 祐
早川 文 人
伊崎 公 介



藤田 ふじた

正樹 まさき

氏を選任

（住 所）
御嵩町井尻
三四番地一

固定資産評価審査委員会委員

平成22年3月31日で任期満了となった籠橋英三氏の後任として、藤田氏が選任されました。

委員の任期は3年で定数は3名です。

平成22年 第1回定例会

そこが知りたい

一般質問は3月11日と12日に行われ、9人の議員が活発な質問をしました。

1 早川 文人 議員 ……6ページ

- 鉄道のある町づくりについて
- 地区公民館の運営について

2 木下 四郎 議員 ……7ページ

- デマンド方式について
- 平成22年度一般会計予算について

3 岡本 隆子 議員 ……8ページ

- 公共交通について
- 職員数と人件費
- COP10 関連

4 佐谷 時繁 議員 ……9ページ

- 地球温暖化防止と活気のある御嵩町を

5 伊崎 公介 議員 ……10ページ

- 御嵩町の文化財のデータベース化
- ホームページの更新

6 安藤 博通 議員 ……11ページ

- 教育に対する理念
- 貸金業法改正による教育に与える影響

7 梅原 勇 議員 ……12ページ

- 4月20日実施される予定の全国学力テストについて
- 土曜日の授業復活は
- 町内小中学校における暴力行為の実態は

8 大沢 まり子 議員 ……13ページ

- 予防ワクチンへの公費助成を求む
- 保育園への看護職配置の推進について
- 介護問題について

9 亀井 千歳 議員 ……14ページ

- 21号バイパスについて

文責についてお知らせ

一般質問の「問・答」は、質問議員本人に文責があります。

なお、一般質問のページに掲載した内容についてお尋ねの際に、議員に直接連絡がつかない場合は、ご質問の内容、お名前、連絡先（住所、電話番号等）を添えて議会事務局まで書面にて届けていただければ、議員から直接ご連絡いたします。



早川 文人

鉄道のある町づくりについて

問 鉄道のある町づくりについて

名鉄広見線存続に向けて、今後各種団体等に働きかけ乗客増を図る。3年後乗客数が目標に達しなかった場合、微増の場合、年間7千万円の赤字補填で存続が可能であるか、今から予測し対策を講ずるべきでないか。

そこで「鉄道のある町づくり」を提案する。平成13年に廃止された名鉄八百津線の復活と御嵩駅から鬼岩公園までの新線敷設によって、町外からの観光客誘致により町の活性化を図るもの。
特に名鉄八百津線跡地は鉄道敷地であることから、鉄路によつて本来の価値が

発揮される。

問題が多い提案であるが、夢に向かって積極的な方策を希望する。

①町単独でも鉄路を残すために国・県への要請、また専門家による調査、研究を実施する考えは。
②平成22年度オープンの御嶽宿の3施設は、町の活性化の起爆剤として期待できるが、今後は大規模施設の設置を我慢しても鉄道のある町を目指したいとの考えは。

答

①名鉄に対する赤字補填は広見線の延命措置ではないと判断している。今日まで国・県にあらゆる方法で働きかけてきた。旧名鉄八百津線の復

活には厳しい判断をしている。今は広見線存続が最優先と考えている。

②御嶽宿にオープンする3施設は、名鉄広見線利用促進も視野に入れ運営する。

問 地区公民館の運営について

公民館の運営費は町補助金と自治会協力費によつて成り立っている。公民館活動は青少年育成の場でもあり、国の方針も子どもに関する予算は増やす方向にあることから、公民館補助金の削減は寂しい感じがする。

答

①平成22年度予算で公民館補助金を削減した理由は。
②公民館長・公民館主事は地域を統括する信頼度と責任の重

大性からも報酬を増額すべきでないか。また、現在の公民館嘱託職員を常勤主事の職名にすることは。
③現行の公民館も包括し、地区のまちづくりを行う組織としての地域委員会を設置したらどうか。

答

①第四次町行政改革大綱改訂版に基づき、町行政改革推進委員会の協議を経て平成22年度予算計上した。今回の補助金見直しでは、廃止した事業は12事業、削減した事業は29事業である。

答

②公民館の充実した運営には、自治会関係者をはじめ地域住民の献身的な協力もいただいている。公

民館長・主事の報酬増額については、さらに調査を進めるが、現在の町の財政状況からは、かなり難しい課題だと考える。

公民館事務嘱託員の職名については、勤務時間に制限があるが、主事的業務を實施していることでもあり「常勤主事」と比べても問題はないとの見解を持っている。

答

③地域委員会の設置については、最初に地区議員と話し合う機会を持ち、次に公民館関係者及び地域づくり団体会員と雑談形式の話し合いを実現したい。この方法を町内4地区で行い意見集約し、地域委員会設置の判断にしたい。



木下 四郎

「交通弱者」のための総合交通政策を

問 デマンド方式について

伏見の「あつと訪夢」の方々から、高齢化による交通問題の不安を訴えられている。また、先般、上之郷公民館で交通フオーラムが開催され、参加者の関心の高さがうかがわれた。具体的な方法については今後の検討に待たれるが、名鉄へのアクセスを考えても大事な課題だと考える。今後の町の交通問題は、全体で考えていく課題だが、町としての考え、青写真はどうか。

答

〔町長〕

交通の利便性は運行数を増やすことがひとつのポイントだと考えている。デマンド方式としての基本

的な基地としては駅、公民館等を考えている。今までは、名鉄

の連動までは考えが及んでいなかった面もあり、見直す時期だと考えている。ドアツードアの考えのもとで試験的に運行し、ボランティアの協力もお願いしながら他地域の優れたところは取り入れ、御高版デマンド方式を具体化したい。乗り換えのため、ある程度の辛抱はしていただき、運行日を地域別に決め、安全、保険なども考慮しながら、臨機応変なふれあいバスの有効利用も視野に早い時期に踏み込みたい。

問

合特法（下水道の

整備等に伴う一般廃棄物処理業の合理化に関する特別措置法）は、下水道の整備等によりその経営の基盤となる諸条件に著しい変化を生じることとなる一般廃棄物処理業等について、著しい影響を緩和し、合わせて経営の近代化および規模の適正化を図るため計画を策定し、その実施を推進する等の措置を講ずることにより、業務の安定を保持すると共に廃棄物の適正な処理に資することを目的としたものである。

町はグラントルーパーにより締結された合理化協定に基づき、事業者が代替業務を提供しているが、現

状はどうか。また、御高町の代替業務は増大しており、重要課題の一つと考えている。この課題は執行者と議会が問題を共有して真剣に取り組む必要があると思うが、今後の対応について伺いたい。

答

〔町長〕

これまで合特法については、県内関係市町村が加入する廃対協（岐阜県市町村廃棄物処理事業対策協議会）で対応してきている。この協議会は廃棄物処理業者について調査研究し、相互協力等により、市町村の廃棄物処理事業の円滑な運営を図ることを目的としており、今後についても岐阜市や高山市を中心とする廃対協で情

報交換、意見交換しながら対応していく。県も廃対協と岐阜県環境整備事業協同組合との協議の不調を受けて助言的立場で係わっていただく。これまでの経緯から廃対協としては、代替業務の期間と随意契約方法の二点が大きな課題と認識している。

こうした状況の中で、各関係自治体の首長も現状を厳しく受け止めており、腹をくくってやっという機運であると感じている。

また町議会においてもこれまでの経緯と事実を認識した上で、特別委員会を設置するなどして検討していただき、スタンスを決めていただくことも必要と考えている。





岡本 隆子

今後の町の公共交通のための話し合いの場を！

問 生活支援のための公共交通

暮らしに欠かせない交通手段をどのように確保していくかは、高齢化に伴いどの町でも切実な問題である。時間帯や運行日、路線などの問題でふれあいバスを利用できない人も多く、「あつと訪夢」などの高齢者が集う場所への足の確保を望む声が大きく上がっている。そのよ

うな現状を捉え「地域の足を考える会」が発足し、デマンド交通の提案もなされている。
①今後の町の公共交通をどのように考えていくか。町民の話し合いの場が必要だと

思うかがか。試験的運行に一步を踏み出して欲しい。

②福祉課との連携が必要で、地域に住まう町民の日常的外出先とその目的、利用手段、移動で困っている点などアンケートをとるべきと考えるがいかがか。
③可見市の「さつきバス」の利用は出来るのか。町民が利用しやすいよう連携をとって欲しい。



豊田市小原地区のデマンドバス

答 【総務部長】

①町長も今定例会の施政方針の中で「今後ふれあいバスやデマ

ンド交通についても議論し、公共交通のあり方を検討していく」と述べている。御

高町の実情にあった公共交通のあり方を「名鉄、エコバス、ふれあいバス」などの情報を一元化した中で4地区での座談会を開催していく。
③可見市との連携は必要で、今後「さつきバス」への乗り継ぎなど町民への周知を検討していく。

答 【民生部長】

②企画課と保険長寿課などが同じテーブルについて調査・研究していくことは欠くことが出来ない。アンケートは介護認定を受けていない65歳以上の全員の方に健康度チェック票を、毎年送付

している。平成22年度については交通移動手段に関するアンケートも同封する計画である。

問 職員数と再任用制度

職員数の適正化計画では、「平成23年度までの5年間で6人削減し160人以内とする」とされている。今後町の職員数をどのように考えていくのか。また再任用する体制は出来るのか。

答 【町長・総務部長】

再任用体制は出ている。ここ数年、勧奨退職制度による退職者も多い。平成22年度見込み職員数は162人であり、23年度には160人となる計画である。

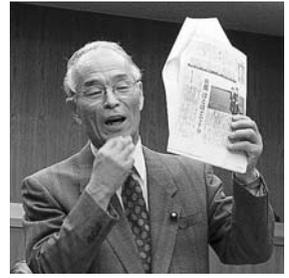
問 COP10について

①県内でもいち早くレッドデータブックを作っている中で、「生物多様性計画」なるものを提案し情報発信していくべきではないか。
②生物多様性をテーマにした取り組みをすべきでは。

答 【まちづくり参事】

県内でレッドデータブックを作成しているのは御嵩町だけ。COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）に合わせて情報発信していくことは重要だと認識。生物多様性をテーマにしたイベントや講演会、自然体験ツアーなどを開催していく。

地球温暖化防止と活気ある御嵩町を！



佐谷 時繁

問 学校や保育所等
公共施設に太陽光発
電システムの設置を

確実に地球温暖化
が進行している現状
を思うとき、今こそ
私たちも行動を起こ
さなければならぬ。

政府が温室効果
ガスの削減目標を
1990年比25%減
（前提条件付き）と
する方針を決定した
のを受け、住宅用太
陽光発電システム設
置に対する補助金制
度を今年度から設け
る自治体も増加して
いる。

新規の公共施設に
は太陽光発電パネル
の設置を採用する政
策を望む。

答

〔町長〕

「環境の町御嵩」と
言われているが、具

体的な政策において
はかなり遅れている
と思っている。御嵩町
が低炭素都市推進協
議会幹事になった今、

新たな目標を設定す
ることで知恵を出し、
具体的に行動を起こ
す時だと認識してい
る。

岐阜県と当町を含
め5自治体が指定され
「緑の分権改革」が
進められている。

自然エネルギーと
して太陽光、クリー
ンエネルギーはバイオ
エタノール利用で「森
林プロジェクト」を推
進している。

産・官・学・地域
が共同の精神で取り
組み、それがビジネ
スになることが大事
だと思っている。

提案いただいた太
陽光発電については、
循環型社会の構築の

ためにも、積極的に
取り組みたいと思っ
ている。

問 学校、保育所、公
園などに「芝」を張り、
そのメリットを共有
する政策を

全国的に校庭の芝
生化が進んでいる。

2003年に鳥取県
でスタートした苗植
え方式は全国に拡大
している。

効果として、「土ぼ
こり防止」「転んでも
ケガが少ない」「冬で
も適度な湿度が保た
れる」「夏の猛暑でも
ヒートアイランド現
象を緩和する」「水溜
りが出来にくい」「芝
生の緑色は最も精神
が安定するといわれ
ている」「世代交流の場」

「地域コミュニティの
形成」などの多くのメ
リットが考えられる。

また、鳥取市内の
小学5年生の50m走
で男女とも記録が良
くなったとの報告も
ある。

初期費用や維持管
理などの問題もある
が、その効果を考え
れば具体化する価値
は十分あると思う。

答

〔町長〕

美濃加茂市がすで
に行っており、可児
市もPTAが主体と
なりトラックの外周
の芝生化を行っている。
他の市町村も芝
生化の方向だと認識
している。

当町におい
ても積極的に
行いたいと思
っているが、
芝生の管理、
また、維持費
をどうクリ

アするかの問題があ
る。

地域、PTA、学
校などの理解を得て
積極的に協力をして
頂かなくてはならぬ
い。

昨年10月に「ぼっ
ぼかん」に隣接する
空き地にイワダレソ
ウを試験的に植えた。

成長が大変早く、ま
た、横に広がるので
適している。芝の場
合は、140万円程
の維持管理費が掛か
る。

いずれにしても、
積極的に取り組みた
いと思っている。



きらり館南側の芝生化

御嵩町の文化財のデータベース化



伊崎 公介

問 文化財のデジタルデータベース化

御嵩町は歴史の町であり、貴重な文化財も多く存在する。これをデジタルデータとして保存し、データベース化すれば、町ホームページで公開することも可能である。

こうしたことで御嵩町の魅力を広く公開することもまちづくりの一環ではないか。

答 【教育担当参事】

現在、郷土館で収集している資料や文化財については、所蔵品としてデータベース化して、整理のついでなものから町ホームページの「みたけ館所蔵品」で公開し

ているが、部門も整理されておらず、目的を持って探すのも困難な状況である。町として、これまで

紙媒体での歴史情報提供は昭和55年発行の「御嵩町の文化財」、昭和51年より編纂してきた「御嵩町史」、平成15年発行の「御嵩町の文化遺産」等があるが、文化財としてまとまった形でデータベース化して紹介したものは存在しない。

郷土館で保有する資料は、膨大な数があり、一気に作業に着手することは、现阶段では確約できないが、今後も引き続き資料の閲覧等に向けて作業を進め、住民に、より分かりやすく、利用しやすい

方法进行研究していく。御嵩町史は、歴史や伝統的な文化を理解して、郷土に愛着を深め、次世代への歴史や伝統文化等の継承と貴重な資料の保存を図りたいという思いで展開した事業である。書籍として残すことを主眼においていたが、一部はデジタルデータ化してある。

ホームページ上での町史の公開は、他市町村では、全文公開の形態より、要約してPR用に公開しているものが多い。

昨今のインターネット環境から、書籍としての普及にも限界があり、刊行物のデジタル化を職員間で話し合っている。

御嵩町のホームページの改善を望む

問 町ホームページの改善を望む

ページはトップページの文字が小さく、情報も煩雑で閲覧上問題である。カテゴリ別に整理して、閲覧者が情報をたやすく得られるものに改善を望む。

答 【総務部長】

町ホームページは平成10年に開設し、年度、更新してきた。今年の4月より、ケーブルテレビ可児による文字データ放送が開始され、御嵩町も行政情報を提供することになり、この情報と町のホームページの内容がリンク



町のホームページ画面

することが必要なため、同時に情報更新を職員に指示した。閲覧者の立場に立つた公式サイトでの整理については、平成18年の一部修正から4年を経過し、使い勝手が良いとはいえない。22年度中に観光やイベント情報など写真を多く取り入れたものに改善に向けて調査・検討を行いたい。

町内の旬の情報や特産品、イベントの紹介等に相当する情報を提供したい。

教育の役割分担・所得による教育格差



安藤 博通

問 教育に対する理念

議会が、たびたび要求を出していた30人学級が御嵩小学校（町内他校は必然的）において、新入生のみといえども実現の運びとなったのは喜ばしいことである。教育には目指すべき人間像があり、また、理念・理想を持つて、未完成のものを理想に向かって昇華させるべく努力する場所でもあると思う。そのため、学校の役割・家庭の役割・社会（行政）の役割があると思う。それぞれにどのような考えをお持ちか。

また、子どもの理

解力を増すということからすれば、少人数学級はあまり効果はなく、それよりも

「習熟度別授業」の方が効果があるとか、多人学級の方が社会性を増すには良いなどと、様々な意見がある。今回、少人数学級に踏み切るに当たつての検討はどのようなになされたのか。その資料・回数を会議資料を添えて提示いただきたい。

答 【教育担当参事】

それぞれの役割・理念について考えを述べさせていただく。学校の役割は「生きる力」を育むこと

を目指し、その基礎づくりの場であると考える。郷土御嵩を愛し、人間性豊かな生徒を育成すべく「学力の向上」「心の教育の向上」「健康増進と運動能力の向上」を目指す。

家庭の役割は社会生活の基盤づくりの場と考え、家庭が徳育、しつけ、情操教育などに取り組むことが大切と考えている。行政はこれらの効果・成果が表れるよう、支援・援助を行うことと考えている。

次に、協議検討の回数は、可茂教育事務所、町長、教育委員会など、それぞれ3〜5回行った。なお、その時々の協議・指導の内容記載の議事録等については残っていない。

問 貸金業法改正による教育に与える影響

次に、「改正貸金業法」が今年の6月から完全実施されるが、教育に与える影響についての考えをお聞きます。

目的はサラ金などの多重債務者の救済であるが、教育にも影響が出るのではないかと懸念されている。即ち、借り手の年収の3分の1を与信限度とする総量規制である。例えば年収4百万円の人

が2千万円の住宅ローンで35年払いで組んであり、大学在学費用として、3百万円を15年払いで借りたとしたら、電気製品・家具などのクレ

ジットカードの支払い余裕は8万円前後となり、生活に影響を及ぼすと考えられる。

まして、350万円以下の収入の人は、推して知るべしである。町は所得による教育格差の是正を何らかの形で行うべきと考える。これらの窮状を訴える人があれば、期間限定で、町民税の支払い猶予・教育

免税を実施するとか行政として手を差し伸べる用意はあるか。

答 【教育参事】

義務教育を受ける経済的環境整備については、種々施策を講じている。大学進学等の対応としては、各種奨学金制度もあり、特段に所得による教育格差の問題は考えていない。



梅原 勇

いま、教育現場では



御嵩小2年(21年度)生活科「ときどきわくわくまちたんけん」の授業

問 学力調査、抽出式でどう変わる

「巨費を投じて全員にやる必要があるのか」「地域間の『点数競争』に陥っている」。平成19年のスタート以来、様々な論議を呼んできた全国学力調査が、今年4月20日の実施分から大き

く変わることになった。最大の変更は、小6、中3の全員を対象にしていたのを、全体の約3割を抽出するサンプル調査に切り替えることである。文科省は、学力競争や公表問題のもとになっていた市区町村別、学校別の成績の集計も止めるとし

ている。

町内小中学校で抽出された学校は何校だったか。抽出されなかった学校の自主参加は。教育長及び教育委員会

答

【教育長】
岐阜県に

においては、平成15年度から実施している県独自の学習状況調査と、抽出方式に変わった全国学力調査で、学校における児童生徒の学力向上、教育の改善に役立つと理解している。町

内で平成22年度に抽出されたのは上之郷中学校1校。他の学校は同時期に行われる県の調査で目的は達せられると判断し、希望参加はしない。

問 土曜日の授業復活は

平成23年度から学習指導要領が改まり、授業時間と教える内容が増える。東京都教育委員会では今春より月2回に限り土曜授業を後押しする通知を出した。

町教育委員会では

平成23年度よりの授業時間の不足をどう補っていくのか。

答

【教育長】

可茂地区では、不足分を夏休みの3日間短縮し、始・終業式には式以外の時間は授業を行い補う。実施は平成23年度からで、22年度に周知を図っていく。全国的にも夏休みの短縮が進んでいるようである。

問 町内小中学校における暴力行為の実態は

昨年末の文科省の発表で、平成20年度の小・中・高校での暴力行為が約6万件と報告された。日本中で校内暴力行為がまん延しているのではないか。些細なこ

とでキレて対生徒や教師に手をあげる子どもが増えている。町の現状と対策は。

答

【教育長】

全国的には年々増加傾向にあるが、御嵩町は平成18年度より減少しており20年度には、2件の報告があった。21年度は少し増加していると途中報告があった。

学校では本人、保護者、担任と良く連携を取り信頼関係づくりに努めている。

また、町のスクールカウンセラーや教育相談コーディネーターの指導や支援を受けたり、外部との関係も強化したりしている。また、御嵩町では特に人権教育に力を入れて取り組んでいる。

町民の命と健康を守る施策を



大沢まり子

問 予防ワクチンへの公費助成を求む

①若い女性に増え続けている「子宮頸がん」は、感染前のワクチン接種と検診によりほぼ100%予防できることが分かっている。しかし、ワクチンは、1回1万円以上かかり3回接種で高額となる。
②乳幼児に重い細菌性髄膜炎を引き起こすヒブ菌に対するワクチンを「ヒブワクチン」という。毎年、約千人の子どもが発症し、その内5%の子どもが亡くなっている。治ったとしても4人に1人は聴覚障害などの後遺症で苦しんでいる。ヒブ

菌は集団感染しやすい菌なので、「ヒブワクチン」を接種することにより感染拡大の抑止効果が高まる。予防接種は、1回7000円～8000円で4回接種、3万円ほどかかる。
③高齢者ほど死亡率が高くなっている肺炎の主な病原体で重症化しやすい菌が「肺炎球菌」。

肺炎球菌ワクチンは1回8000円と高額である。これら3種類のワ



クチンは、いずれも高額であることから接種することが難しく、接種率のアップと医療費抑制などにつながる予防ワクチンへの公費助成を導入すべきと考える。

答 【民生部長】

この事業を試算すると必要な財源は1640万円。県内では平成22年度より助成制度を実施する市町があり、近隣の格差を生じさせない配慮は必要。医療における予防重視は医療費削減につながる。地方が先行することにより国と県の補助対象事業としてスタートさせることができる。などを念頭に今後の検討課題としたいと考えている。

問 保育園への看護職配置の推進

保育園に看護職を配置することにより、日常的に保健的な視点で子どもたちを観察し、嘱託医と連携しながら保育現場で対応することができると。そのことにより、保育士は保育に専念し、保護者の安心も高まると思われる。

答 【民生部長】

ニーズ調査により、病時・病後時保育の利用意向が36・4%と高い割合となっている。平成26年度までに1か所の目標を掲げている。

町単独の看護職の配置については、人件費の増加などが伴うので、財政状況を考えた中で優先順位

を決定し実施していく必要がある。近隣市町村の動向を見ながら今後の検討課題としたい。

問 公明党が全国で

実施した「介護総点検」の結果を基に打ち出した「新介護ビジョン」に対する見解は

答 【民生部長】

「新介護ビジョン」を取りまとめるにあたり、街角や要介護認定者、介護家族、介護事業者、介護従事者、全国市町村を対象にアンケートを実施されたことは、国民目線という視点からも制度の検証に不可欠であり、そのようなプロセスを踏んだの提言は評価すべきものと考えている。



亀井 千歳

地元へ配慮した国道21号バイパス工事を

問 21号バイパスの古屋敷から井尻区間の工事について

①町道との接続、住宅・田畑への乗り入れ、信号機・横断歩道の設置、通学路の安全対策、用排水路等に関する地元要望への対応は。

②地元説明会での説明・設計図書どおりに工事は進んでいるか。周辺住民への説明は。生活道路の寸断の可能性については。信号機のない交差点での右折は。

答 【建設部長】

可児市中恵土から古屋敷の4.3kmは、平成5年度から着手し平成17年度に完成し供用を開始している。

古屋敷から井尻までの3.7kmは、関係する沿線の自治会・水利組合等による地元対策委員会を中心に影響する問題を調査・検討・解決しながら事業を進めている。平成16年度から着手している。21年度末の完成の予定だったが、諸事情により工期は22年度へずれ込んでいる。

①バイパスに接続する町道との接続は、大泥茶田原線、御嵩102号線など4路線の改良工事を計画に沿って町で進めている。

信号機は交通量、信号間の距離、流れなどを考慮した中で公安委員会と協議し計画している。すべての交差点に信号機を設置するのは不可能

であり、運転者自身も安全運転に努めていただくことをお願いしたい。

道路構造上の問題でもあり、すべての要望に答えることは困難な点もあり、ご理解願いたい。

③地権者・沿線住民からの要望についての回答は既にしてきているが、今後も財政事情を考慮しながら対応していきたい。供用開始後も国土交通省と調整しながら対応していきたい。周辺住民の方にはご理解願いたい。

住宅・農地等への乗り入れ、用排水路等にかかる地元要望については、国土交通省へ要望・協議・調整をした中で関係者の理解を得て進められている。不都合をきたすところがあれば、調整の上、可能な範囲で改善を要望していく。

②説明会で説明のあった内容から、着工後の現場とのすり合わせのために、数回の変更を行っている。



21BPの古屋敷～南山の間は暫定的に対面通行となっている(南山地内)

議員行政視察研修レポート

1. 視察研修目的

1. 視察研修目的
 鉄道、町並み、中山道を生かしたまちづくりの取り組みについて

2. 視察研修日

2. 視察研修日
 平成22年3月26日（金）

3. 視察研修先

3. 視察研修先
 恵那市岩村町、明知鉄道ほか

4. 研修結果の概況

□岩村町のまちづくりの取り組み

4. 研修結果の概況
 □岩村町のまちづくりの取り組み
 本通り地区は城下町として発展した地区であり、江戸時代からの建築物が多く残る。伝統的建造物群保存地区の指定を受け、保存整備に取り組み、旧問屋などを公開するなど、街並み活性化につなげている。国からのまちづくり交付金を活用し、電柱の地中化や広

場整備などの事業が進められている。地域活性化の取り組みは地元住民組織との連携の上で行われていた。
 □明知鉄道の運営と利用者増加に向けた取り組み
 昭和60年に国鉄明知線を引き継いで第三セクター方式で運営される、恵那駅から明智駅までの約25kmの地方鉄道。明智町、岩村町を中心とした沿線住民の盛り上がり、および沿線自治体の努力により存続が実現した。
 経営は楽ではなく、行政の援助を受けながら運営する。沿線住民、高校生が清掃などのボランティアに取り組んでいる。列車の中で寒天、キノコ、自然薯などの地元料理が味わえるグルメ列車、自転車ごと乗り込めるチャリンコ列車など、各種イベントを積極的に



山あいをのどかに走るワンマンカー

行い集客に努めている。
 □まとめ
 岩村町のまちづくり、明知鉄道の運営のいずれも、残存する街並みや、地域条件が違うため、当町にそのまま当てはめることはできないが、地域住民が積極的に係わり、行政と連携して取り組んでいることなどは、御嵩町の各種取り組みにも生かせるのではない

平成22年 第1回臨時会

平成22年2月10日に、平成22年第1回臨時会を開会しました。
 消防団員に関する条例2件と一般会計の補正予算1件と専決処分の報告がありました。

1	平成21年度御嵩町一般会計補正予算（第8号）について	上之郷地域へのケーブルテレビ敷設のための工事費114,628千円を増額します。	賛成全員で可決
2	御嵩町の消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消防団の活動を円滑にするため、新たに災害支援団員を設け、その任免や服務等を定めます。	賛成全員で可決
3	御嵩町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	災害支援団員の退職報償金などを定めます。	賛成全員で可決

町長報告

専決処分の報告について（損害賠償の額）	業者による町有地の誤伐等に係る和解及び損害賠償額が決まりました。
---------------------	----------------------------------

御嶽宿に ^{つど}新たな集いの場が完成



御嶽宿
わいわい館
の中庭

5月23日開館予定



みたけ健康館

4月4日オープン



御嶽宿
さんさん広場

4月4日オープン



みたけ健康館にある
エアロバイクで健康づくり

編集後記

入学式も終わり、新一年生が満開の桜の下を元気よく登校しています。この子どもたちが、健やかに育つような御嵩町であるように議会運営をしていきたいと思っております。

編集委員は議会だよりの発行をより充実した内容に、より迅速にお届けすることを、 motto に編集して参りました。

今回は昨年よりも半月早く発行できました。今後もより一層の充実と迅速を図ることを心掛けます。

三月定例会は本年度の事業を組み立てる予算審議が、最も重要な議題であります。そこに視点を置いて読んでいただけたらと思います。

(K・I)